

医学系研究実施のお知らせ

医学系研究「福岡歯科大学医科歯科総合病院口腔外科と耳鼻咽喉科の連携による歯性上顎洞炎治療の有用性についての研究」に関する研究実施のお知らせについて

当院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善などを目指す医学系研究を行なっています。そのような医学系研究の一つとして、この研究も行われております。

このお知らせ文は、この研究の実施について皆様に知っていただき、研究内容を正しく理解していただくと同時に、対象者となられる方またはその保護者が研究不参加を望まれる場合にはその意思表示をしていただくためのものです。

なお、この研究は福岡学園倫理審査委員会の承認と、研究機関の長（福岡学園理事長水田祥代）からの許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2023年3月31日までです。

1. 研究の対象となる方の条件

2015年9月1日から2020年3月31日までに、当院口腔外科を受診され歯性上顎洞炎と診断された満16歳以上の患者さんが対象です。目標症例数は120例です。

この研究において、ご自身の診療情報等が利用されることを望まれない場合は、お手数ではありますが、下記相談窓口の担当者連絡先まで、ご一報ください。

2. 研究の目的や意義について

研究対象症例である歯性上顎洞炎は、その診断基準や治療方針について国内外でガイドラインなどの統一された見解がなく、各診療科・施設ならびに医師・歯科医師によって診断や治療が異なります。そこで、本研究では、歯性上顎洞炎と診断された患者様の受診からの治療経過を検討し、歯性上顎洞炎の治療に生かしていくことを研究の目的とします。

3. 研究の方法について

この研究を行う際は、対象となる方の診療録より以下の情報を取得します。

〔取得する情報〕

性別、年齢、紹介元の標榜診療科、既往歴、アレルギー、臨床症状、画像検査所見、血液検査データ、原因歯の部位・病名・治療歴、歯性上顎洞炎ならびに原因の治療（処置内容、投薬内容、期間等）、耳鼻咽喉科の介入内容、通院期間、治療成績。これらのデータから歯性上顎洞炎の臨床における実態を検討し、当院で行われてき

た口腔外科と耳鼻咽喉科の連携による歯性上顎洞炎治療の有効性を分析します。

4. 試料や情報の管理について

この研究において研究対象者から得られた情報は、研究終了後、福岡歯科大学口腔・顎顔面外科学講座 口腔外科学分野において同分野教授の池邊哲郎の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

5. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

6. 研究の実施体制について

研究実施場所 (分野名等)	学校法人 福岡学園 福岡歯科大学 口腔・顎顔面外科学講座
研究責任者	福岡歯科大学 口腔・顎顔面外科学講座口腔外科学分野 教授 池邊 哲郎

7. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 (相談窓口)	福岡歯科大学 口腔・顎顔面外科学講座口腔外科学分野 助教 横尾 嘉宣 連絡先：〔TEL〕 092-801-0411 (内線 235) 〔FAX〕 092-801-1288 メールアドレス：yokoo@college.fdcnet.ac.jp
---------------	--

(作成日：2020年8月3日 最終修正日：8月29日)